

# ●▲ みねのぶ

6月号



田植え風景 (八田重忠さん 美唄市峰樺3区) 令和8年5月

■発行日/令和8年6月1日/No.1490号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

JAみねのぶ×コープさっぽろ 親子で田植え体験

5月23日、美唄市峰延町峰樺3区の八田重忠さんの圃場で田植え体験を行いました。

食育活動を目的に行い、コープさっぽろ組合員親子10組25人が参加しました。当日は好天に恵まれJA青年部の応援を得ながら熱心に田植えをおこないました。

開会式の中で八田さんから、「育苗から数えて約180日で収穫となります。秋にたくさん稲が稔るよう願いを込めながら、丁寧に植えてください」と激励があり、子どもた

ちは元気な返事をしていました。

農業振興課の高倉職員が田植え方法を説明した後、子どもたちは裸足で勢いよく田んぼへ入り、泥まみれになりながらもJA職員やJA青年部員の指導を受けながら「ゆめぴりか」の苗を1株ずつ丁寧に植え付けていました。

初めて体験した子どもは「転んだけど楽しかった」「まっすぐに植えられた」など笑顔で話していました。秋には稲刈り体験と脱穀体験を予定しています。



採用職員が農家実習を行う

本年1月16日付で採用した横山沙季さん(金融課)が5月20日、21日の2日間、農家実習を行いました。

実習先は、石川弘樹さん(光珠内町2区)の圃場で、田植え時期の農作業実習を行いました。最初に、育苗ハウス内の苗マットを圃場の田植機に運ぶ軽トラクに運ぶために苗床から剥がしてラックにセットする作業。続いて、圃場に移動し苗マットを農道から田植機に積み込みセットする作業や田植機に乗り込んで揺れる田植機上で苗マットを補充する作業を行いました。



苗マットをはがす横山さん

横山さんは、農家実習を終えて、「コメ生産の一部の経験ですが、農家は大変な思いで生産をしていて、普段食べているコメにありがたみを感じます」と感想を述べていました。



石川さんが運転する田植機上で苗マツトを補充

### 昨年度の資格取得者へ表彰をおこなう

5月1日、職員の朝礼において、昨年度の資格取得者への表彰式を行いました。

伊藤組合長から認定書が交付され、自己研鑽に励む姿勢を称えるとともに、今後もさらなる飛躍を期待する激励の言葉が贈られました。資格取得者は次のとおりです。農協資格認定試験

上級 菊地 和矢(内部監査室)

初級 伊藤 翔太(営農販売課)  
皆川 愛佳(金 融 課)  
毒物劇物取扱者 伊藤 翔太(営農販売課)

農産物鑑定研修会最優秀賞 大豆の部 横田 遥人(営農販売課)



### 第3回(4月定例)理事会開催

4月27日開催の第3回(4月定例)理事会において次の事項が決議されました。

#### ◇決議事項◇

1. 理事に対する資金の貸付について
2. 令和8年度農家経済再建対策組合員および債権管理組合員の選定について

3. 令和8年度共同計算運営基本事項の制定について

4. 令和8年度米・小麦・大豆等出荷契約について

5. 玄米ばら集出荷調製施設FAシステムの更新について

6. 玄米ばら集出荷調製施設キユービクルの更新について

7. 規程類の一部変更について

8. 組合員による持分譲渡の承認について

### 健康経営優良法人に継続認定されました

当JAでは、令和4年7月の「健康企業宣言」以来、健康保険組合と連携し、職場研修会をはじめとする健康づくりの取組を継続して参りました。

この度、昨年に引き続き「健康経営優良法人」に認定されました。これは、職員の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に実践する当JAの取組が、今年も優良であると認められたものです。

健康経営優良法人は1年ごとの更新制度となっております。今後も健康管理担当者を中心に、職員一人ひとりが心身ともに健康で働ける職場環境づくりに取り組んで参ります。

### おくりやみ申し上げます

北野 康浩さん (57歳) 4月10日

森下 幸弘さん (79歳) 4月27日

佐藤 トモコさん (92歳) 4月29日

野呂 榮一さん (88歳) 5月4日

東フサ子さん (91歳) 5月17日

美唄市峰延町峰樺1区

美唄市光珠内町北

美唄市豊葦町1区

美唄市上美唄町中央

美唄市5条西10丁目2-1

美唄市豊葦町1区

美唄市豊葦町1区

美唄市豊葦町1区

美唄市豊葦町1区

美唄市豊葦町1区

### JA長期共済定期推進の

お知らせ

本年度の長期共済推進は、6月10月、1月、3月の計4回を予定しております。

その第1回目として、6月10日から12日までの3日間、各戸を訪問させていただきます。

当JAでは、皆様の大切な建物や収容品を自然災害や盗難から守る「建物更生共済」をはじめ、充実した保障をご用意しております。

生命系共済では、現代のがん治療に特化した「新がん共済」や、一時金タイプの「医療共済」、また老後に備える「年金共済」など、多様なニーズにお応えできるプランを取り揃えて

おります。  
ご家族で保障を見直す大切なきつかけになれば幸いです。訪問時はおもちろん、いつでもお近くの窓口にてご相談を承っておりますので、ぜひこの機会にご加入をご検討いただけますと幸いです。

## 徳 報

### 救急の決意と食料準備



二宮尊徳翁は次のように話された。私は、不幸にして、十四歳の時に父に死に別れ、十六歳で母にも死に別れた。父母が所有していた田畑は、洪水の為に残らず流出し、若い頃に味わった困窮、艱難は、それこそ心魂に達し、骨髓に染みわたり、という言葉のとおりであり、今なお忘れることが出来ない。それであるから、何としても、世を救い、国を富ませて、困難と闘う人を助けたいと思ひ、勉強してきたところ、凶らずも天保の二度の飢饉に遭遇し、救援活動を行うこととなった。

その時には、いろいろと心を使い、方法を考え出し、身を粉にして働いて、出来るだけ多くの人を飢饉から救おうと努めた。その救援の方法は、今年是天候の具合が悪いから、凶作になるのは間違いないだろう、と予想したその日から、関係者一同と申し合わせ、厳しく勤儉を行い、固く飲酒を禁じ、他の仕事を決然と投げうって、凶作対応のための準備に集中した。

その手順は、先ず申し合わせて、空き地、耕作放棄となっている田畑を開墾し、木綿畑をつぶして、じゃが芋、蕎麦、菜種、大根、蕪菜などの食料となる物を蒔き付ける手配りをしっかりと行い、土用明けまではいんげん豆も遅くないので、蒔かれずに残っている種を手に入れて多く蒔かせた。それに続いて、早稲を刈取り、その後の乾いた田は耕して麦を蒔き、残った田には、金銭を惜しまずに元肥を入れて地味を向上させてから、畑から菜種の苗を移植し、食料の補助とした。

このように、その土地土地で油断なく研究すれば、意外に多くの食料が得られるので、そうすべきである。凶作の兆しが見えたなら、油断なく、食料を得る工夫をすることである。

(夜二〇〇)

### JAへの就職希望者100%就職 (令和7年度実績)

## 令和9年度入学生 第1回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年 ●寮完備(個室) ●通学制
- 受験資格: 概ね満27歳未満(令和8年4月1日現在) / 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日: 9月19日(土) ●願書受付: 7月13日(月) ~ 8月31日(月) 消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

お問合せ  
資料請求

JAグループ職員養成校



一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

## 北海道立農業大学校

### オープンキャンパス

北海道立農業大学校は  
北海道で農業を  
志す人のための  
学校です。

- 第1回 6/20(土)
- 第2回 7/24(金)
- 第3回 8/1(土)



Facebook



Instagram



HP

- 学校説明会 ●農大生トークセッション ●体験授業 ●施設見学 ●個別相談
- 帯広駅前から本校までの無料送迎バス運行(要申込) ●家族や同行者も昼食の試食が無料